

「なんなんだ、このグイグイ感！ 世の中、こんなひどいのか？  
こんなに危ないのか？ というところで、注目すべき作家の一人ですね、羽田圭介は！  
泣くほど感動しないけど、病みつきになります。」  
有隣堂伊勢佐木町本店・佐伯敦子さん

「なんてハードボイルドな作品集。市井には、街中には、こんな身近そうなあちこちに、  
闘う者達が満ち溢れているなんて。内容は、相当、ハードだけど、とてもソフトに読み進  
める事の出来る羽田圭介氏真骨頂の、なんとも不思議な活劇譚でありました。」  
大垣書店高槻店・井上哲也さん

「1 話ごとにスリリング！ そして女は強いのだ!!」  
うさぎや矢板店・山田恵理子さん

「自分の生活する世界とは縁がないと思っていた裏社会が、意外に身近だとジワジワ思え  
てくる怖さ。3 話のうち、2 話が女性を主人公としていて、二人の性別を超えた働きっぷ  
りが痛快だった。一方で「内なる殺人者」のリュウジが小麦アレルギーという設定の対比  
が面白い。この連作短編集が面白いのは、タイトルが匂わせるブラックな労働環境を生み  
だす社会への単なる批判ではないところだ。  
搾取仕放題の体制側、社会の暗部へ対抗する、仕事人それぞれの戦い方が、胸を打つ。  
この世に存在する人の数だけのドラマがあるからだど、当たり前なのに改めて思いを馳  
せた作品だった。」  
ときわ書房千城台店・片山恭子さん

「この時間外労働は過酷すぎる！ 時間どころか法からも外れた“お仕事”で奮闘する人  
達をヒョウヒョウとテンポ良く一気呵成に読ませる。ノンストップブラックお仕事エンタ  
メ小説。」  
うさぎや自治医大店・高田直樹さん

「とにかく圧倒されてしまった。3つの短編からなる作品集だが、どの作品もびっくりす  
る様な事を淡々とある意味とても真面目にこなしていく。2敵はヤクザだったり刑事そし  
て国家権力と日常からかけ離れているのに、まるで日常生活の様に自然に感じてしまう。  
自分の近くでもこういう事がおこっている様にすんなり受け入れられる羽田圭介さんさ  
がです。」  
明林堂書店大分本店・多田由美子さん

「危険な話はワクワクドキドキする人が多いのでは？ ドアの向こう側をのぞいた気分にな

りながら一気に読ませて頂きました。入魂のクライムノベル楽しませていただきました。」

うさぎやTSUTAYA 栃木城内店・佐々木さん

「五感で読んでいる様な錯覚に陥る読みごたえでした。臨場感がありすぎと言いますか…  
…短編で良かったです！長編ならドキドキや緊張感が続き過ぎてヘトヘトですよ。」

大垣書店ビブレ店・金本里美さん

「一般的なランチの時間とは、かけ離れている。職業的にもハードな彼等、彼女達。ランチの内容よりも、その日常が興味深くてしかたない。3編とも、読み応えありました。」

文教堂北野店・若木ひとえさん

「「5時過ぎ」というだけに楽しいランチタイムではないブラックランチが想像されるこの『5時過ぎランチ』身辺にありそうな感覚!! 特に『グリーンゾーン』は引き込まれました。ガソリンスタンドに行った時には車のボディーを見てしまう!？」

未来屋書店幕張店・安丸さん

「5時過ぎに食べるランチは主人公達のおなかと気持ちを満たしてくれるに違いありません。そして、読者には読後の小気味良さをくれるそんな小説だと思いました。」

MARUZEN 広島店・中島さん